

(別紙5)

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-050  
補助事業名 平成27年度 国内スポーツ競技力向上のための補助事業  
補助事業者名 公益財団法人 日本オリンピック委員会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

オリンピック・ムーブメント事業は、国民にオリンピックへの関心を高め、オリンピックの価値を体感、理解してもらい、国民一人一人がオリンピック・ムーブメント活動を主体的に推進する社会を目指すことを目的に事業展開をする

#### (2) 実施内容

##### 1. オリンピック教室

平成21年4月に新学習指導要領が公示され、中学校3年生の保健体育「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されたことを受けて、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、オリンピックを教師役として派遣し、運動の時間(体育館)＋座学の時間(教室)の2時限を授業形式でオリンピック教室を実施した。授業では、オリンピックがオリンピック大会出場に至るまで、或いは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他社への敬意」といったオリンピックの価値(バリュー)及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えた。また同時に、これら価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらおうこともねらいとして実施した。



##### 2. オリンピックコンサート

内容を一新して4年目となる今年度のオリンピックコンサートは、オリンピック競技大会の狭間の年の開催のため、オリンピック・ムーブメントの本来

(別紙5)

的な意義を重視し、若い世代をはじめ幅広い年齢層に対し、オリンピックへの関心・理解を深めてもらうことを目的に企画した。

テーマは「つなごう、聖なる炎を！」とし、

- ・ 聖なる炎に託され、時を越えて受け継がれてきたオリンピックの精神
- ・ 来年に迫ったリオをはじめ、未来のオリンピックで輝く姿を目指すアスリートの姿を、映像とフルオーケストラとの共演で、スポーツと音楽の相乗効果によるオリンピックがもつ価値への理解やオリンピックへの応援気運の醸成などをめざし、昨年同様、東京国際フォーラム・ホールAで開催し、スポーツファンに加え音楽ファンにも理解と支援をいただけるよう、より映像とのマッチングを考慮した名曲を選曲したコンサートを開催できた。



### 3. JOC公式サイト運営・広報誌製作

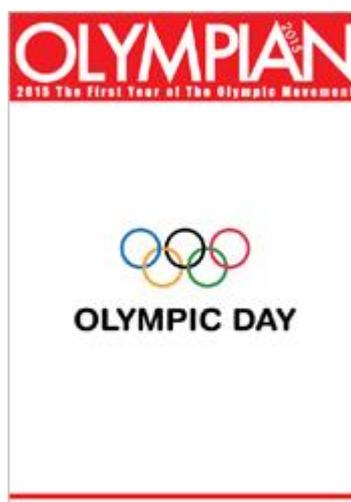
#### 〔JOC公式サイト運営〕

SNSの運用強化に向けて①twitterの運用強化、②JOC加盟団体(NF)との情報発信の連携、③facebookの英語運用の強化、④SNSチャンネルの増加、④オリンピック教育を見据えた既存コンテンツの見直しを図るなど、マルチデバイス対応とコンテンツの拡充に重点をおいた施策をおこなった。

〔広報誌製作〕

年1回発行するオリンピックに関連した情報を提供する広報誌は、JOCが実施するオリンピック・ムーブメント事業の参加者を中心に直接配布し、特に、青少年への理解浸透を念頭とした企画構成で製作している。

今回は、「オリンピック・ムーブメント元年」をテーマに、トップアスリート5人に聞く「ボクらがオリンピックを目指す理由」を巻頭特集に、オリンピックアン5人がスポーツ、オリンピックを通して得たもの、スポーツ、オリンピックの価値とは、リオの抱負などインタビューをおこない、幅広く楽しめる内容で企画・構成し発行した。同時に、公式サイトやタブレットも同時に配信した。



2 予想される事業実施効果

多くの人にとってのオリンピックは「世界最大のスポーツの祭典」として観戦するもと捉えられている現状の中、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた様々な取り組みを、国、自治体、スポーツ関係団体が進めていくことにより、オリンピズムやオリンピックの価値への全般的な理解の広がりが期待される。JOCは国内オリンピック委員会として、2020年東京大会を視野に、更には2020年以降を見据えながらオリンピック・ムーブメント事業の主体的な取り組みを通じて、オリンピックを多くの人と共有し、人々の健全な成長を後押しすることができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

(別紙5)

<http://www.joc.or.jp/>

広報誌：オリンピック（30,000部）

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 日本オリンピック委員会（コウエキザイダンホウジン  
ニホンオリンピックイインカイ）

住 所： 〒150-8050  
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

代 表 者： 会長 竹田恒和（カイチョウ タケタツネカズ）

担 当 部 署： 財務部（ザイムブ）

担 当 者 名： 主事 安達和重（アダチカズシゲ）

電 話 番 号： 03-3481-2296

F A X： 03-3481-0977

E - m a i l： k-adachi@joc.or.jp

U R L： <http://www.joc.or.jp/>